

独立行政法人・緑資源機構の解体を求める要望書

2007年5月30日

内閣総理大臣
安倍 晋三 様

河野 昭一、Ph. D.、京都大学名誉教授
大規模林道問題全国ネットワーク代表
国際自然保護連合(IUCN)・生態系管理委員会
(北東アジア担当副委員長)

金井塚 務、大規模林道問題全国ネットワーク事務局

独立行政法人・緑資源機構による官製談合事件はついに自殺者が出る事態に至りました。談合事件については、今後司直の手によって解明されるべき問題ではありますが、(独)緑資源機構が抱える根本的問題は、談合だけに限られたものではありません。むしろ、林道整備に名を借りた修復不可能な大規模自然破壊と地方自治体の財政破綻をもたらす公共事業そのものにあります。

現在進行しつつある地球温暖化による大規模な気候変動は、世界各地で洪水や干ばつといった災害をもたらしています。食糧の安全保障上はもとより、大規模災害から国民の生命・財産を守るという観点からも環境保全は待ったなしの喫緊の課題でなければなりません。しかるにわが国土を見渡せば生物多様性に富む豊かな自然は、大規模公共工事や天然林の皆伐などで見る影もないほどに破壊され、美しく豊かなふるさとの自然はもはや風前の灯火であります。沿岸生態系、河川生態系は言うに及ばず、これら生態系を支える物質循環の要となる森林生態系はかつての大面積皆伐、拡大造林政策によって大きく損なわれました。その反省もないまま、今日なお、北海道をはじめ、東北、中部、中国、四国、九州と日本列島の至る所で、大規模林道(緑資源幹線林道)工事による豊かな森(森林生態系)の破壊が続いています(添付資料をご覧ください)。

その一方で、国や地方の財政状況は悪化の一途をたどり、無駄な公共工事の廃絶はもちろん、役割を終えた特殊法人・公益法人の整理も財政再建の見地から緊急を要する重要な課題であるとの国会答弁が、ことあるごとに繰り返されています。

(独)緑資源機構が進める緑資源幹線林道(大規模林道)は1973年に立案された計画で、時代的要請はすでになく、官製談合の舞台となるなどもはや自然破壊と税金の無駄遣いという弊害のみが際立つ公共事業をと言わざるを得ません。政府の規制改革会議でも「着工済みの工事が完了した時点で同事業を廃止する」との提言をしているとのことですが、こうした事業の中心的担い手である(独)緑資源機構は真っ先に解体されてしかるべき組織体です。

先般、2007年5月18日、私ども「大規模林道問題全国ネットワーク」は、日本各地区の代表者による議を経まして、我が国の生物多様性を柱とする環境保全の重要性に鑑み、森林生態系破壊の元凶となっている「独立行政法人・緑資源機構の解体を求める」声明を発表し、林野庁へその実現を求める申し入れを行いました。ここに改めて、**我が国のかげがえのない自然(生物多様性)を破壊し、国や地方財政を圧迫する公共事業である「緑資源幹線林道(大規模林道)」工事の即時中止と独立行政法人・緑資源機構の解体を**実行していただきますよう強く要求します。

資料提供団体

私たちは、この要望書に賛意を表し、大規模林道工事の即時停止と独立行政法人・緑資源機構の即時解体を要求し、資料を提供します。

大規模林道問題北海道ネットワーク
大雪と石狩の自然を守る会 代表 寺島 一男
ナキウサギふぁんくらぶ 代表 市川 利美
十勝自然保護協会 会長 安藤 御史
(社)北海道自然保護協会 会長 佐藤 謙
北海道自然保護連合 代表 寺島 一男
広島フィールドミュージアム 代表 金井塚 務
森と水と土を考える会 会長 原戸 祥次郎
細見谷流域研究者グループ世話人 安溪 遊地
葉山の自然を守る会 代表 原 敬一

添付資料

- 1) 独立行政法人・緑資源機構の解体を求める・声明 (2007年5月18日)
大規模林道問題全国ネットワーク
- 2) 細見谷溪畔林(西中国山地国定公園)を縦貫する大規模林道事業の中止及び溪畔林の
保全を求める要望書 (2003年3月23日) 日本生態学会
- 3) 北海道における緑資源幹線林道の即時中止を
- 4) 緑資源幹線林道に関する行政不開示決定に対する抗議および質問書(北海道)
- 5) 細見谷と十方山林道(森と水と土を考える会・広島)
- 6) 細見谷と十方山林道 「2002年版」刊行後の記録(十方山林道の緑資源幹線林道化事業に
伴う環境保全に関する意見書・要望書等を中心として(森と水と土を考える会広島)
- 7) 日本生態学会中国四国地区会 地区会報 No. 60
- 7-1) 改めて、細見谷溪畔林(西中国山地国定公園)を縦貫する大規模林道事業の中止及び
同溪畔林の保全措置を要望する。 細見谷アフターケア委員会
- 7-2) 緑資源幹線林道大朝・鹿野線戸河内・吉和区間環境保全調査報告書(素案)に関する意
見書 細見谷アフターケア委員長 豊原源太郎
- 7-3) 細見谷林道整備に関する意見 波田善夫・鳥居春巳
- 7-4) 緑資源幹線林道大朝・鹿野線 戸河内・吉和区間事業に関わる期中評価委員会への
意見陳述 金井塚務・豊原源太郎
- 8) 「まっろはぬ」 (葉山の自然を守る会・山形)

写真資料 北海道における大規模林道事業によって破壊された自然

天然林破壊に関する関連資料

北海道の天然林伐採を直ちに中止せよ

写真で見る 北海道・上ノ国町における違法・過剰伐採の実態